

愛専各連会報

発行 一般社団法人愛知県専修学校各種学校連合会 事業運営委員会

〒460 - 0003 名古屋市中区錦 3 - 11 - 13 名古屋ガーデンパレス 4 階 (052)957-1392

ご挨拶



会 長

市 原 康 雄

会員校の皆様におかれましては、残暑なお厳しく、涼風の待たれるなか、ご健勝のこととお慶び申し上げます。常日頃は、本連合会の行事、運営に格別のご支援を賜りますこと、心より御礼申し上げます。

さて、我々専修学校各種学校をとりまく環境はますます厳しいものとなってまいりました。ロシアのウクライナへの侵攻による原油価格や穀物の高騰、急速に進んだ円安による物価高や光熱費の高騰は、学校経営に重くのしかかってきています。さらに、少子化にも歯止めがききません。推計値では 2030 年と見込まれていた出生数 80 万人割れが、早くも 2022 年に到達してしまっています。怖いのは、2015 年までは 100 万人あった出生数が、わずか 7 年で 20% 以上減少してしまったという強烈なスピード感です。

また、近年、世界各地で頻発している異常気象。世界気象機関 (WMO) によると、暴風雨や洪水、干ばつといった気象災害の発生件数が 1970 年から 2019 年の 50 年間で 5 倍近くに増加しています。その要因の 1 つに「地球温暖化」が大きく影響していると言われています。こう

した事態に国連のグテーレス事務総長が危機感をあらわしました。「人類は厳しい立場に置かれています。地球温暖化の時代は終わりです。これからは“地球沸騰の時代”が到来した」と。では、このとてつもなく大きな問題を防ぐために私たち一人一人ができる行動とは何か。こちら皆様と一緒に考え、教育していかなければなりません。あらたにチャット GPT など、生成 AI の取り扱いについて、学校はどう判断して、どう向き合っていくのか、非常に難しいテーマにも取り組んでいかなければなりません。

このように社会的・構造的課題が多様化・複雑化するなか、会員校皆様の叡智を終結し、愛専各全体で課題解決に取り組む必要があります。また、修学支援新制度の機関要件変更による充足定員 50% の問題や、私立学校法の改正による寄附行為の変更と理事と評議員の兼職禁止など、早急に取り組まなければならない課題もあります。愛専各がその課題解決に重要な役割を果たせるよう、様々な課題に関する最新の情報提供を積極的に行うとともに関係各局との協議・要望を通じて、会員校の取組を支援して参りたいと考えております。

また、高等学校からの強い要望で始まったロゴマークプロジェクトは、徐々に高等学校全体に浸透し、高い評価を受けています。高校生が間違った進路選択をしないためにロゴマークプロジェクトへのご協力をよろしくお願いいたします。

最後に取り巻く環境厳しい中、愛専各としては国や県へのより一層の支援のお願いをしていかなければいけないと考えています。会員校の皆様におかれましては今後とも愛専各の取組にさらなるご理解、ご協力をお願い申し上げます。

第108回 合同授与式

令和5年3月16日(木)、名古屋ガーデンパレス「明倫の間」において大村愛知県知事をお迎えし、第108回合同授与式(知事賞・連合会長賞・理事長賞並びに教員資格認定証授与式)が開催されました。



コロナ感染症が流行してから、令和元年度が中止、昨年一昨年は、コロナ対策を万全にしながらも、授与者を限定しての短縮型開催でしたが、今年度は4年ぶりにコロナ前の本来の形に戻し、各賞代表者に賞状の授与をすることができました。また、授与式出席者も昨年までは各校2名迄と制限がありましたが、今年は人数制限をなくし、178名という近年ではまれに見ぬ参加者で、会場は大いに盛り上がりました。

受賞者は、

愛知県知事賞 131名

連合会長賞 122名

職業教育・キャリア教育財団理事長賞 191名

愛知県各種学校正教員資格認定証 24名

愛知県専修学校准教員資格認定証 330名

全国専修学校教員資格認定証 28名
となりそれぞれの代表者に賞状と認定証が授与されました。

授与後、大村知事からは温かいご祝辞をいただき、最後に愛知美容専門学校の石田鈴奈さんが、「憧れの職業へ進むための専門学校での2年間は、有意義で充実していました。」と先生方への感謝の言葉を述べ閉式となりました。

令和5年度 定時社員総会

5月25日(木)午前10時から名古屋ガーデンパレス「明倫の間」を会場として、令和5年度定時社員総会が開催されました。はじめに市原会長が開会挨拶で、昨年度から導入されました『ロゴマークプロジェクト』について、会員校での利用がまだまだ浸透していないことに触れ、対高等学校への戦略として、積極的に取り組んでもらうよう要請がありました。

また、今年度は、来賓として愛知県議会議員：自民党私学振興議員連盟会長の水野富夫議員と私学振興室の藤井徹室長を来賓にお招きしました。



令和4・5年役員

顧問	儀村義安
〃	小川明治
会長	市原康雄
副会長	山本直明
〃	成光雄
〃	佐藤弥生
〃	鈴木雅也
理事	安井宏

理事	片嶋一光
〃	小川義則
〃	加治佐真由美
〃	鈴木悦子
〃	原和正
〃	栗栖昭五
監事	佐藤佳志
〃	河合良平

水野議員の祝辞では、「これまでは、高等課程一辺倒だったが、今年度は、初めて専門課程の学校へ議連のプロジェクトチームでお邪魔する。視察では、学校の自慢ではなく、困ったことを議連に挙げて欲しい。普段から何が不足なのか、何に困っているのか、いつでも会長を通して議連に要望をして欲しい」というお言葉をいただきました。



成副会長の開式の辞で始まった総会は、名古屋工学院専門学校の小川義則先生を議長に据え、早速議事に入りました。

【第 1 号議案 令和 4 年度事業報告承認の件】

鈴木総務部長が配布資料に基づき会議の開催状況、活動概要等について報告。特に異議はなく、出席者全員これを拍手承認した。

【第 2 号議案 令和 4 年度決算報告承認の件】

山本財務部長が配布資料に基づき、貸借対照表、正味財産増減計算書等について説明。続いて佐藤佳志監事が全て適正との監査報告を行った。特に異議はなく、出席者全員これを拍手承認した。

【報告事項】

1. 鈴木総務部長から令和 5 年度事業計画及び会員異動状況について報告。
2. 山本財務部長から令和 5 年度予算書について報告。

最後に事務局より配布資料の説明があり、散会となりました。

なお、例年総会前に行われていました教職員に対する『10 年勤続表彰』は、今年度より知事が出席されます 3 月の合同授与式に組み込まれることとなりました。

年末にかけまして、改めて申請のご案内をさせていただきます。教職員の先生方への福利厚

生としてもご利用いただけますので、多くの申請をお待ちしております。

私立学校法の改正

総会終了後は、全専各の菊田薫参与をお招きし「私立学校法の改正と高等教育の修学支援新制度の見直しについて」の講演をお願いしました。

特に私立学校法の改正については、役員の選任規定が大きく変わり、各学校法人とも大きな変革を余儀なくされます。単純に法律改正で規制が厳しくなるだけですので、職業実践専門課程や修学支援新制度の時のように、学生募集につながるようなメリットはありません。

主な改正のポイントは、①理事は理事選任機関で選任・解任され、寄付行為に定めた他の方法によることはできません。②理事長の選任・解職は理事会が行い、これもこれまでのように寄付行為で別の方法を定めることはできません。③監事の選任は、評議員会の同意ではなく決議によることになります。④兼職については、理事と評議員の兼職や子法人の役員等との兼職が禁止されます。⑤理事・理事会が選任する評議員は、制限なしから 1/2 までの上限が設けられます。



これらの変更は、寄付行為の変更を伴うものが、ほとんどですので、早めの対応が必要になります。愛専各では、既に私学振興室との意見交換会で、Q&A の作成依頼を行っていますが、年度末に向けて様々な形で情報提供ができればと考えています。

なお、この日の説明は、愛専各の HP を通じ動画で確認することができますので、繰り返しご覧になることをお勧めします。紹介された文部科学省からの資料も、HP 記事よりダウンロードが可能です。

全専各・全専協 総会

6 月 21 日（水）に全国専修学校各種学校総連合会、翌 22 日（木）に全国専門学校協会の理事会と定例総会が行われました。

毎年総会に参加される文部科学省の総合教育政策局生涯学習推進課専修学校教育振興室中安史明室長からの文科省概要説明では、やはり私立学校法の改正がメインとなり、学官共に大きな節目を迎えていることを感じさせられました。

第 67 回 中部七県ブロック協議会

— 大会のテーマ —

『変貌する世界を生きる専各』

中部七県ブロック協議会第 67 回定期大会は、8 月 24 日（木）、石川県金沢市のホテル日航金沢において開催されました。ブロック協議会は、コロナの感染拡大に伴って、静岡大会が 2 年連続で中止、昨年は感染対策を万全にして三重四日市大会で復活しました。

今大会は、大会テーマを、『変貌する世界を生きる専各』に定め、アフターコロナというよりも、国際紛争や気候変動がもたらす様々な課題、また ICT や DX に本格参戦しないままに生成 AI など、日夜変化する世界に対し、専門学校・各種学校がどう進むべきかを考える大会となりました。



大会には、馳浩石川県知事、村山卓金沢市長、中安史明文部科学省専修学校教育振興室室長、福田益和全専各総連会長始め多くの来賓・関係者を迎え、参加者 140 名（愛知 9 名）の盛大な開催となりました。



文部科学省の中安室長からは、持ち時間を大幅にオーバーする行政説明がありました。コロナ禍以降の環境激変と、各種法律改正による各学校の舵取りはますます難しくなることが予想されます。単独県での活動では限界がありますので、全専各や隣県専各との連携の必要性を感じざるを得ないというのが実感です。

また、本会議終了後は地元石川県七尾市出身のパティシエ・ショコラティエ辻口博啓さんによる記念講演会が行われました。辻口氏と言えば、当時 23 時台の放送でありながら視聴率 20% を超える視聴率を誇った『料理の鉄人』で、パティシエとして初めて勝利し話題に。その後は、自らの店舗を展開するだけでなく、2012 年には石川県に『スーパースイーツ製菓専門学校』を開校し、自らの技術を後輩たちに伝えています。

講演では、自らの学生時代の経験から、①教科書を見るだけの座学学習だけでは、社会で通用しないこと。②コンテストでは、自分の作りたいものではなく、審査委員の評価を得て勝つための作品を追求してきたこと。③異分野にも興味を持ち、それを菓子作りに取り入れていることなどが紹介されました。

閉会式では、石川県の鏑一郎会長から次期開催県である福井県の青池浩生会長へ県旗が引継がれ、大会が終了。その後のスケジュールも、コロナの呪縛から解放され、コロナ前の活気が戻りました。

懇親会は金沢芸妓の三味線と太鼓で始まります。石川県と金沢市の肝いりで、伝統文化の継承と人材育成のため、県外の参加者が多いイベントのほとんどで、歴史と共に磨かれてきた芸を披露しているそうです。現在は、ひがし茶屋街・にし茶屋街・主計町茶屋街の 3 地区で 14 軒ほどのお茶屋が店を構え、日々厳しい稽古を重ねているそうです。これもある主の職業教育かもしれません。年に一度の旧交を温める参加者の方が多くみられ、懐かしい顔、新しい顔が入り乱れ、活発に意見交換する懇親会となりました。

来年は福井、次は岐阜へと開催地が続きます。

県議連 P T 視察

昨年度、3 日間 5 校にわたって行われました愛知県議会議員私学振興議員連盟 P T（プロジ

ェクトチーム)の学校視察を今年度も積極的に受け入れています。

今年度の1回目は7月7日(金)七夕の日に行われ、水野議連会長、須崎・石井の新旧議長を含む5名の県議が参加されました。

今回は議員の視察が始まって以来初めて専門課程の学校への視察が組み込まれました。午前中は会長校の愛知調理専門学校、午後は今春より新校舎に移転した愛知芸術高等専修学校を訪れました。

水野議連会長には、5月の総会にも来賓としてご挨拶をいただきましたが、コロナ以降の物価高騰で会員校が受けている経済的ダメージは非常に大きく、その解決には各校の現状と問題点を具に見学いただくことが一番です。特に専門課程は経常費補助金が20年以上据え置かれていることもあり、何とか目を向けていただくために、お願いを重ねてきましたが、漸く視察の段階にまで駒を進めることができました。

学校説明では、市原会長から高度な専門教育や実習で即戦力を育成するには、相応の設備投資と維持費がかかること。また、日々の実習にかかる経費が、数カ月単位で値上がりし、学校の負担だけでは補えない状況にまでなっていることが伝えられました。



校内見学と意見交換の後は、参加議員と県職員に生徒の作った昼食が振舞われます。材料費高騰という窮地の中でも創意工夫をもって1年3カ月調理実習に励んできた生徒たちから、プロ顔負けの懷石仕立ての昼食が用意され、「料亭と変わらないレベルだ」と高い評価をいただきました。

視察当日の7月7日は、「そうめんの日」。中国では七夕の日、そうめんの祖となった索餅(さくべい)を食べることによって病気を祓つ

たことにちなんで昭和57年に制定されたようです。市原会長よりそんな蒔蓄が紹介され、湯桶の代わりに涼やかな彩りそうめんもいただきました。

午後は、大曽根に新校舎が完成した愛知芸術高等専修学校に伺いました。昨年までと大きく環境が変わる中、新校舎で生き生きと授業を受ける生徒が目立ち、「居眠りする生徒が多い公立や私立の高校と同じ年齢の子たちとは思えない。教育は専修の方がいい」という評価もいただきました。

今回の一番の収穫は、「秋にも専門課程の学校を!」と言っていただけでした。この号が発刊される頃には、秋の視察日程が決まっていることと思いますが、来年度以降も、議連の学校視察にはご協力をいただき、補助金増につながるような専修学校の現状を訴えていただければ幸いです。よろしくご協力ください。

広報部報告

専門学校展

令和5年3月24日(金)、愛知県産業労働センターウインクあいちにて、第36回目を迎えた愛知県専門学校展『専門学校まるわかりフェア』が開催されました。

愛専各のイベントも、コロナ禍で様々な制約を受け、時には中止の憂き目にも会いましたが、この3月はようやく制約なしの専展を復活させることができました。

今年も事前予約を行い、スムーズな受付を展開。バス動員なしで前年度を上回る300名超の来場者を集めました。

今回の特徴は、コロナで業界に大ダメージを負った調理や製菓の分野への参加者が多かったこと。これも参加者のメインである高校2年生が、今でなく1年後の自分の卒業をしっかりと見据えていることの表れです。

一方で、まだまだ自分の進むべき道がハッキリしないという生徒も多く、父兄同伴の来場者に、何件も進路相談を受けたことが印象に残りました。「自分のやりたいことが分からない」という子どもたちは年々増える一方です。こういった世代をどう誘導し、取り込んでいくのが、今後の募集のポイントになっていくのでし

よう。

来年も、場所を同じくして 37 回目を開催します。よろしくご参加ください。



専門学校説明会

名古屋ガーデンパレス「翼」の間で、専門学校説明会が 5 月 24 日（水）に開催されました。

高等学校の進路指導関係者は愛三岐の三県から集まり、委員からの全体説明、各分野卒業生のナマの声、質疑応答などが行われました。

参加した高校の先生からは、事前にロゴマークに関する質問や要望が事務局に寄せられ、生徒に説明するために会場で使用する卓上プレートが欲しいといわれる学校が多く、希望される学校には、当日配付させていただきました。

全体説明、質疑応答の後に行われます分野ごとの個別説明は、例年数えるほどの寂しい参加者です。しかし、今年度に限っては、参加したほとんどの先生が、隣の部屋に設けられたブースに席を移し、熱心に耳を傾けます。事情を聴いてみますと、コロナが明けて、それぞれ生徒の希望する分野が、どの程度回復したのかを知りたいという方がほとんどでした。

失われた 3 年間と、それを取り戻さなければならぬという使命感は、どの世界でも同じのようです。

専門学校案内 2024

「専門学校案内誌」が、高等学校から最も信頼をいただいていると感じるのは、協議会などで「なぜこの学校は掲載が無いのですか？」と聞かれる時です。要望を伺っても、1 冊完結のバイブルにされたいようです。

そんな信頼の証「専門学校案内誌」は 96 校掲載で 20,000 部。同じく大好評の「体験入学

ブック」は 58 校掲載で 20,000 部を発行しました。

高等課程学校案内 2024

会員校 26 校が掲載された「高等課程の学校案内」も、7 月 7 日に納品され、県下の中学校には、7,000 部が発送されました。

高等課程の学校案内は中学校だけでなく、県下の支援団体やメンタルケアの医療機関からも送付希望が多く、愛知県の高専修の特徴が浮き彫りにされます。

高専修在学者は東京 2,835 名、大阪 4,283 名に比べ、愛知県の 7,414 名は突出していますが、生徒個々に対するきめ細やかな指導が学校以外の公的機関にも評価されている証でしょう。

中学校長会との協議会

今年も「愛知県・名古屋市小中学校長会合同進路委員会との協議会」が、下記の日程で行われました。今年度は、2 回目の協議会の後に行われていました校長会と会員校の意見交換会が復活し、活発な交流がなされました。コロナが 5 類になり、形式的な会議だけでなく、多人数で積極的な意見交換ができる場も、今後はどんどん増えていくのだと思われます。

なお、高等専修学校展は、例年通りナディアパークで行われますが、合同説明会は例年の会場である名古屋市教育センターが改修工事のため別会場で行われますので、高等課程の担当者はご注意ください。

- ・6 月 21 日（水）、第 1 回目の協議会で、校長会が実施しているアンケートをもとにした要望書が提出されました。

- ・7 月 5 日（水）、高等課程設置校を集めた全体会議で、要望書の回答が作成されました。

- ・7 月 25 日（火）、全体会議で決められた回答を校長会側に伝えました。

この場で中学校の校長先生側から L G P T Q の問題について専修学校の対応を尋ねられました。今は、制服の問題やトイレ、部活や体育の授業の着替えなど程度の問題ですが、今後は高等課程に限らず、専門課程でも大きな問題となってくることが予想されます。

高等課程秋の行事日程

・第37回高等専修学校展は、9月9日（土）、栄のナディアパーク：デザインホールで開催されます。開始時間は例年通り午前10時。中学校校長会からは来賓依頼を出す役員の先生方以外も多数来場され、生徒たちの動向を熱心に見学されます。

・合同説明会は、例年の会場が改装工事のため場所を移転して開催されます。今、名古屋市内はイベント会場不足が大きな問題となっていますが、本イベントも2回の説明会を同じ会場で確保することができませんでした。やむなく初日10月4日（水）は伏見ライフプラザ：鯉城ホール、2日目10月6日（金）は鶴舞：名古屋市公会堂と隔日開催となりました。

来年度は、名古屋市教育センターの改修が終わりますので、令和4年までと同様の開催に戻りますのでご承知おきください。

研修部報告

准教員講習会

コロナ禍の影響で、准教員講習会は令和2年度より集合研修からDVDによる会員校ごとの視聴に切り替えました。この変更によって、時間を自由に設定できるという利便性から、参加者がコロナ前より大幅に増加することになりました。

今年度も会員校から「集合研修よりもDVD」の声が多く、早々に前年同様の対応が決められました。第1回の発送が5月、2回目6月に行われ、8月末に参加者のレポート提出が終了しました。

10月までに教員研修委員会で内容確認が行われ、年明けに審査会。3月の合同授与式で資格認定証が授与されます。今年度の受講者は376名で前年比12名増です。



教員講習会

規約上、准教員のような映像ツールでの代替が認められていない教員講習会は、令和2年度コロナ禍で中止を余儀なくされました。

しかしながら、一昨年度より、大きめの会場をとり、講師との距離や受講者の間隔を十二分にするなど、感染症対策をしっかりと行うことで再開の運びとなりました。

名古屋国際会議場にて、専修学校教員講習会（一般課程・高等課程、専門課程）が各々3日間で開催中、各種学校正教員講習会は6月14日に終了しました。教員資格認定委員会が年明けに行われ、准教同様、3月の合同授与式で資格認定証が授与されます。

総務部報告

各種スポーツ大会

県下における各種のスポーツ大会は、全国大会の県予選や中部地区予選を兼ねることになっています。コロナ禍では全国大会の中止に倣って、開催を中止したり代替競技会を県独自で開催したりするという動きが続きましたが、昨年からようやく正常運転ができるようになりました。

しかしながら、一旦下火になったクラブ活動熱が、生徒のクラブ離れを誘発することになったのか、大会参加や連盟に加盟する学校が、コロナ期間中に激減し、単独県での開催が困難になった種目も増えました。愛専各では5月の総会時に、加盟校募集の案内をさせていただきましたが、なかなか回復傾向はみられないようです。ご協力いただける学校さんがあれば是非各種目団体への加盟にご協力ください。

運営に携わられた各競技役員や委員の先生方、事前準備や猛暑の中の会場立ち合いなど本当にお疲れさまでした。

大会結果

■バスケットボール

日程：7月2日（日）

場所：美浜町総合公園体育館

成績：男子優勝：名古屋医健スポーツ専門学校

〃 準優勝：大原法律公務員専門学校
女子優勝：名古屋医健スポーツ専門学校



■バレーボール

日程：7月9日（日）

場所：静岡医療科学専門学校

成績：男子優勝：名古屋医健スポーツ専門学校

■テニス

日程：8月21日（水）、22日（木）

場所：稲永公園テニスコート

成績：

男子シングルス優勝：濱口竜伎（名古屋医健）

〃 シングルス準優勝：伊藤太一（〃）

男子ダブルス優勝：濱口・坂田（名古屋医健）

〃 ダブルス準優勝：伊藤・細川（〃）

■サッカー

日程：8月31日（水）

場所：名古屋市港サッカー場

成績：参加校が少なく中止

■軟式野球

日程：8月16日（水）～18日（金）

場所：岐阜市長良川球場

成績：男子優勝：名古屋リポート&スポーツ専門学校

〃 準優勝：名古屋医健スポーツ専門学校

お知らせ

■第35回 卓球大会

下記の要領で開催いたします。

1. 主 催 愛知県専修学校各種学校連合会
2. 後 援 愛知県・中日新聞社
3. 開 催 日 令和5年10月30日（月）
9:00～17:00
4. 場 所 露橋スポーツセンター
5. 参加資格 愛専各会員校に在学する

学生及び生徒

6. 競技種目 男女個人シングルス

1部：専修・各種18歳以上

2部：専修・各種17歳以下

男女団体

混成不可・学校単位のみ

7. 参加費 個人戦 1人 2,000円
団体戦 1チーム 6,000円

8. 問い合わせ先

名古屋工学院専門学校 青木行洋
電話 052-681-1311

Email — yukihiro.aoki@denpa.jp

※参加申し込みは所定様式により
上記をお願いします。

新規参加希望がある場合も同じ

事務局より

— あいち ウィーク —

昨年迎えました愛知県政150年を記念して、今年も様々な行事が行われていますが、この中で、労働生産性や労働者の休暇満足度の向上、及び観光需要の平準化を目指し、愛知県「休み方改革」プロジェクトが進められています。

これに伴い、教育委員会では県内の公立学校に「あいち ウィーク（11月21日～27日）」期間中の1日を「県民の日学校ホリデー」に指定し、休業日とすることを決めました。これを受け、私立学校についても、県民文化局から、各団体代表や設置者に向け同ウィーク期間中の休業日設置を呼び掛けるよう依頼がありました（令和5年1月27日付）。

愛専各では3月の理事会で、「あいち ウィーク」での休日設置に賛同し、会員校に働きかける旨の議案が承認され、令和5年度事業計画に織り込まれることとなりました。

県立学校では、年度スタート時において休業日を定める学則変更が行われており、市町村立学校でも管理規則が更新されています。私立学校においては各学校の判断になりますが、総会での議案でご承認いただきましたので、各校におかれましても、必要に応じて学則変更を行い、「あいち ウィーク」での休日設置にご協力ください（なお、県からの依頼文では、今年度間に合わない場合は、次年度：令和6年度からの実施も可となっております）。

（事務局：長谷川）